

【2007～2008】

RIテーマ「ロータリーは分かち合いの心」

ROTARY SHARES

RI会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

【会長方針】 藤沢東ロータリークラブ

第32代会長 河合克彦 幹事 横田佳代子



2007年～08年のRIテーマは、「ROTARY SHARES（ロータリーは分かち合いの心）」です。

当クラブの方針もRIテーマに沿ったものとしたと思います。

SHARESとは「分かち合う」ということですが、これは内と外の二面があります。まず「内」の分かち合いですが、会員がそれぞれ役割を分かち合うことを意味します。クラブでの役割は理事・役員、委員長・副委員長・委員等いろいろあります。自分に分かち与えられた役割を担いながら、クラブ運営に貢献することが求められています。クラブ会員同士が深く知り合うことができるのも、自分に分かち与えられた役割を果たす行動を通じて深めることができると思います。

ケネディ大統領の就任演説に「祖国があなたに何をしてくれるかを尋ねてはなりません、あなたが祖国のために何ができるかを考えて欲しい」という言葉があったように記憶しております。鐘はそれ自体では鳴りません。鐘は撞かなければ鳴りません。撞く力に応じて音が返ってきます。ロータリークラブ自体は鐘のようなものです。クラブに対して自分から撞く行動があって始めてクラブから何か得るところ、喜びを感じるのではないかと思います。自分に分かち与えられた役割を着実に果たすこと、むしろ積極的に役割を買って出ることがロータリーの鐘を撞くことにはなれないかと思ひます。

現在 CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）を推進中です。CLP ではクラブ組織の見直しを検討しております。クラブ組織を考える場合、各役員・各理事の役割は何か、各委員会の役割は何か、を検討しながら進めています。CLP 委員会で検討した役割を今年度は十分理解していただこうと思ひております。そして皆様には分かち与えられた役割を着実に果たしていただこうと思ひております。役割を果たすことがクラブの活性化にもなるし、会員同士の親睦を深めることになるし、自分自身の喜びにもなると考えるからです。

次に「外」の分かち合いですが、これはロータリークラブでの素晴らしい体験や喜びをクラブの「外」に向かって積極的に発信し、「外」の人と喜びを分かち合うということです。別の言葉で言えば、クラブの広報活動を積極的に行うということになるでしょうし、また外部の人にクラブのすばらしさを伝え、ひいては入会してもらふことになると思ひます。つまり広報・会員増強が「外」に向かっての活動といえます。

【委員会及び委員長】

クラブ奉仕委員長	山本竺
職業分類、会員選考委員会	石神邦孝
会員増強委員会	入澤初子
IT・広報・会報委員会	片岡啓次
雑誌・R 情報委員会	加藤信忠
出席委員会	山野井秀一
親睦委員会	渡邊秀樹
プログラム員会	鈴木利雄
スマイル委員会	佐々木保
S.A.A.	松長孝志
職業奉仕委員長	田中繁
職業奉仕	小柴智彦
社会奉仕委員長	鈴木和夫
社会奉仕	伊川幸宏
新世代奉仕委員長	片岡啓次
新世代	吉田成江
国際奉仕委員長	本田昌子
青少年交換	畠中邦雄
世界社会奉仕	平野勇
姉妹クラブ	須藤修司

R 財団・米山奨学委員長  
ロータリー財団  
米山奨学事業担当

村上寿彦  
吉田成江  
吉田とく江

【主な行事】

2007年8月7日  
江ノ島花火家族例会



2007年8月21日  
会員増強フォーラム



2007年9月11日 クラブ協議会  
第3グループ 相澤光春ガバナー補佐を迎えて



2007年9月25日  
ガバナー公式訪問 第2780地区 小佐野圭三様



2007年10月23日  
青少年交換帰国学生 薄井唯さん



2007年10月30日 夜間例会「佐助」にて  
女流講談師 神田蘭 さま



2007年12月18日  
クリスマス家族例会



2007年11月6日  
米山奨学生 ハン・リュウ 君



2008年1月15日  
新年会 煌蘭



2007年11月27日 夜間例会  
ブリティッシュパブにて 沖縄島歌と三線線のタバ



2008年2月12日  
創立記念例会



2008年2月15日-17日  
台湾職業研修旅行



2008年6月10日  
吉田成江会員 卓話「安全について」



2008年4月1日  
長久保公園観桜会（創立15周年時 記念植樹）



2008年6月17日  
現次クラブ協議会 河鹿荘にて



2008年4月8日  
第5260地区GSEメンバーと、バナー交換

